

事業計画書

事業名	田舎ギャラリー「小さな小さな発表会」プロジェクト 住民と事業者で作るコミュニティ商店街づくり
実施箇所	佐久市臼田地区内 お休み処ベルフラワー
実施期間	事業開始予定年月日 平成 27 年 6 月 20 日 事業終了予定年月日 平成 28 年 2 月 20 日
事業概要	<p><事業の目的></p> <p>臼田地区の中央商店街の空き店舗を活用し平成24年からお休み処「ベルフラワー」を開所。各種イベント、健康講座等を通じて地元住民、病院来訪者との交流、地域活性化に寄与してきた。健康講座は回を重ねるごとに参加者も増え好評であった。しかしながら、一昨年になってさらに空き店舗が増え商店街の連続性が失われたことから、平成26年度は別の空き店舗で元気な高齢者を対象とした健康維持活動の推奨、介助器具の展示紹介、実演会等を開催した。域内の人口が減少し超高齢化が今後さらに進むと予想される中、住民が生き生きとした暮らしを考える機会を提供した。</p> <p>これからの地域コミュニティのあり方は、地域で暮らす人々との繋がり再生が必要である。事業者と地域住民との協働がより一層必要である。平成27年度はコミュニティ拠点としている「お休み処」を活用して、さらに地域住民相互の社会的つながりを充実する為の場所として、地域の住民・高齢者の方の知恵や趣味をいかした交流サロンの機会創出を演出する事業を行う。佐久総合病院分割移転に伴い臼田本院への来訪者が減少し商店街の連続性が更に失われつつある中で活力ある街を取り戻す活動が必要である。住民の方々に趣味や技術を地域へ積極的に発信したい・仲間を募りたい・地域住民の方々と自分の持っていることで繋がりたい、そういった人を広く募集し、選考し発表会を開催する。発表会は広く市民の皆さんへ広報し参加者を募る。市民協働活動を活性化する為地域に暮らす人々の趣味・普及活動を発表する場の提供をする。地域のふれあいの場、コミュニケーションの場を提供する。</p> <p>高齢者、住民の元気・やる気を引き出し、生きがいのある生活を取り戻す、新しいきずな(ソーシャル・キャピタル)を育む暮らしを創出して行きたい。うすだ美図のお休み処活用事業により病院来訪者と地元住民さらには商店主が会話する機会が増え、コミュニティが生まれつつある。さらに佐久市が掲げる「世界最高健康都市」の構築を共に目指していくことが必要である。</p> <p><事業の内容></p> <p>平成27年6月から「お休み処・ベルフラワー」を活用し、趣味や得意分野などで地域貢献をしたい、地域住民とつながりたい、元気高齢者、又は地元に戻りたい学生など、住民から自慢の発表や地域とつながるイベントを行える様なアイデアを広く募集し、来客者を集め発表できるように提案する。2カ月に1回イベントを実施、地域で活動する団体、</p>

	<p>事業者の活動成果の発表と住民とのコミュニティの機会をつくる。例えば手芸の会、絵画の展示、釣りの会、山菜採り名人、囲碁、将棋など趣味を中心とした発表会。または、新鮮な地域農産物、手作り加工品の試食販売をする「うすだマルシェ」。あるいは、地元の学生、若者世代からは佐久総合技術高校の生徒・長野大学研究生の活動成果の発表。これからの地域づくりに学生のアイデアを生かしたい。発表会の開催等に係わる費用を当会で負担し、多くの住民と触れ合う機会としたい。</p> <p>6月 「小さな発表会」開催案内・募集開始 7月 応募アイデア、プレゼンテーション・検討審査 8～9月 発表会スケジュール発表 9月 発表会1回目開催 10月 発表会2回目開催 11月 発表会3回目開催 12月 発表会4回目開催 1月 発表会5回目開催 2月 アンケート調査集計、優秀発表会検討、事業化評価</p> <p><事業の効果・アピールポイント></p> <p>各月の発表会イベント来場者30人を目標。イベント来訪者の商店街回遊による既存商店への経済効果アップ お休み処「ベルフラワー」の利用者、一日10人を目標 うすだ美図主催イベント参加者10%アップ 各種事業を通じて地域住民の参加意識が高まり地域コミュニティの再生が期待できる。 発表会で健康元気な街づくりに寄与する。</p> <p><事業における市の役割分担></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久市が進める、うすだの街づくり「ウエルネス・マルシェ・うすだ」 ・事業計画の方向性とマッチしているため協力をお願いしたい ・健康に関する発表会開催時の評価委員派遣
--	--